



平成 25 年 7 月 26 日

各 位

会 社 名 フリービット株式会社
(コード番号 3843:東証マザーズ)
本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号
代 表 者 代表取締役社長 石田 宏樹
問 合 せ 先 グループ経営管理本部長 清水 高
電 話 番 号 03-5459-0522(代 表)
(URL <http://www.freebit.com/>)

(訂正)「平成23年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年6月26日付の当社適時開示「6月7日に開示致しました「当社連結子会社における不明瞭な取引及び会計処理に関するお知らせ」についての調査状況及び決算発表予定日についてのご報告」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成23年3月15日付「平成23年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成23年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年3月15日

上場取引所 東

上場会社名 フリービット株式会社

コード番号 3843 URL <http://www.freebit.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 宏樹

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 田中 伸明 TEL 03-5459-0522

四半期報告書提出予定日 平成23年3月16日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年4月期第3四半期の連結業績（平成22年5月1日～平成23年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年4月期第3四半期	17,005	61.3	△179	-	△28	二	△288	-
22年4月期第3四半期	10,541	32.6	105	△90.9	371	△66.8	328	△71.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第3四半期	△5,780.16	-
22年4月期第3四半期	6,643.51	6,449.15

(注) 平成23年4月期第3四半期連結の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たりの四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年4月期第3四半期	21,664	7,281	32.0	139,620.23
22年4月期	16,022	7,834	47.4	150,197.44

(参考) 自己資本 23年4月期第3四半期 6,926百万円 22年4月期 7,601百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	-	0.00	-	3,600.00	3,600.00
23年4月期	-	0.00	-	-	-
23年4月期(予想)	-	-	-	3,600.00	3,600.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年4月期の連結業績予想（平成22年5月1日～平成23年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	70.0	1,000	145.3	1,050	30.6	200	△80.4	4,010.57

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年4月期3Q 51,002株 22年4月期 51,002株

② 期末自己株式数 23年4月期3Q 1,390株 22年4月期 390株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年4月期3Q 49,951株 22年4月期3Q 49,431株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(第3四半期連結累計期間)	8
(第3四半期連結会計期間)	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の業績が回復基調を見せているものの、欧米をはじめとした経済鈍化懸念もあって円高が急進し、国内の雇用情勢や景気の先行きは未だ不透明な状況で推移しております。

一方で、インターネットの分野においては、FTTH（光ファイバー）接続が増加したことにより、ブロードバンド契約者数が平成22年9月末時点で3,401万契約となる（総務省公表値）など、利用者数の増加とともに、通信環境の高品質化が引き続き進展しております。

このような環境の中、当社グループは、これまで行ってきた構造改革や成長ドライバーへの投資を結実させるべく事業展開を行うとともに、新たにInternetMarketing事業を取り込むことで事業リソースの拡充と事業規模の拡大をはかっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は17,005,373千円（前年同四半期比61.3%増）となりました。営業損失は179,634千円（前年同四半期は営業利益105,770千円）、経常損失は28,715千円（前年同四半期は経常利益371,860千円）、四半期純損失は288,723千円（前年同四半期は四半期純利益328,396千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第2四半期連結累計期間において、企業のWeb戦略支援等を行う株式会社フルスピード（以下、「フルスピード」といいます）及びフルスピード子会社でアパレルの製造・販売を行うギルドコーポレーション株式会社を連結の範囲に含めたため、報告セグメントとして「InternetMarketing」及び「その他衣料販売」を追加しております。当社グループでは、「その他衣料販売」セグメントをノンコア事業と位置付けて切り離す方向になっており、切り離し後は当報告セグメント自体が削除される予定です。「その他衣料販売」を除くコア事業につきましては当第3四半期連結会計期間から黒字基調で推移し、予定通りの進捗をしております。

① ISP's ISP

ISP's ISP事業につきましては、第2四半期連結会計期間に株式会社ベッコアメ・インターネットを新たに連結子会社化したことで事業規模が拡大したことに加えて、提供先エンドユーザー数が引き続き増加したことにより堅調に推移いたしました。新規ユーザーの多くは退会率の低い光ファイバー回線の利用者であるため、継続的な収入が増加するだけでなく回線コストの低廉化にも寄与いたします。また、事業効率の改善をはかることによって、収益の向上にも努めました。以上の結果、売上高は5,144,422千円、営業利益は725,907千円となりました。

② iDC's iDC

iDC's iDC事業につきましては、従来型のリアルデータセンターサービスを譲渡したことにより、前年同四半期比で売上は減少いたしましたが、当社の強みを活かした仮想化技術とIPv6技術によるクラウド型のデータセンターサービスへ経営資源の集中をはかることで、収益の改善をおこなっております。大手ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス事業会社の推奨インフラに採用されるなどの具体的な実績も表れており、このサービスの拡大に努めることで、引き続き事業構造の転換もはかっております。以上の結果、売上高は1,518,035千円、営業損失は187,897千円となりました。

③ Maker's Maker

Maker's Maker事業につきましては、商品ラインナップの選択と集中、在庫の圧縮、ServersManによる製品の独自性の打ち出しなどの薄利多売型から高付加価値型への転換をはかっております。また、中国におけるM2M市場への本格参入に向けた先行投資も進め、事業提携を行うとともに、合弁会社を設立した中国大手デジタルコンシューマー機器メーカー「愛国者（aigo）」との連携の強化をはかっており、連結子会社のエグゼモード株式会社では、市場競争力が期待できるaigo商品の取り扱いを強化しております。以上の結果、売上高は1,646,032千円、営業損失は224,805千円となりました。

④ B2C

B2C事業につきましては、連結子会社の株式会社ドリーム・トレイン・インターネットにおいて個人向けクラウドサービスなどの新規サービスを開始し、接続サービス以外の収益を確保するべく積極的に新サービスの開発を行っております。競争力の低いひかりoneTタイプ（旧TEPCOひかり）サービスからの撤退による影響も収束し、これまでの事業構造改革によるコスト抑制効果が業績に寄与しはじめており、また、新規ユーザー獲得施策につきましても、業務効率の向上等により獲得のための固定費を吸収しつつあります。これらの効果により、当第3四半期連結会計期間においては利益が創出できる事業構造に転換しております。以上の結果、売上高は3,024,660千円、営業損失は52,734千円となりました。

⑤ InternetMarketing

InternetMarketing事業につきましては、フルスピードを中心に、Webマーケティングなどの企業のWeb戦略

支援等を行っております。

継続収入型の有料会員制サービス「フルスピードクラブ」の獲得に注力したことにより、これまでの主力サービスであった成功報酬型のSEO（検索エンジン最適化）やリスティング広告の獲得は減少しましたが、フルスピードクラブの会員数が順調に増加した結果、売上高は2,948,929千円、営業利益は157,252千円となりました。

⑥ その他衣料販売

その他衣料販売セグメントに関しましてはノンコア事業と位置付けており、切り離しを予定しております。

この事業につきましては、ギルドコーポレーション株式会社によるアパレルの製造・販売を対象としたものであります。会計基準に基づき、報告セグメントとして追加しておりますが、当報告セグメントは当事業の切り離し後、報告セグメント自体が削除される予定となっております。

当報告セグメントにおきましては、様々な販売施策や広告宣伝施策を講じるなど積極的な販売活動を行ってまいりましたが、個人消費の停滞や低価格を特徴とした欧米ブランドの攻勢など厳しい事業環境が続き、苦戦を強いられる展開となり、一部商品につきましては評価損も計上しております。以上の結果、売上高は3,161,399千円、営業損失は88,870千円となりました。

⑦ SI

SI事業につきましては、連結子会社の株式会社ギガプライズにおいて、既存取引先との取引縮小や新規取引先獲得の遅れが発生いたしました。以上の結果、売上高は526,432千円、営業損失は3,923千円となりました。

⑧ その他

その他事業につきましては、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テレコミュニケーション事業等が含まれております。売上高は490,724千円、営業利益は34,010千円となりました。

※ 当社は、前第3四半期連結累計期間において、「インターネット関連事業」と「その他」に分類して開示しておりましたが、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等の適用により、第1四半期連結累計期間より、「ISP's ISP」「iDC's iDC」「Maker's Maker」「B2C」及び「SI」の5報告セグメント及び「その他」に分類して開示しております。また、第2四半期連結累計期間より、「InternetMarketing」及び「その他衣料販売」を新設したことで7つの報告セグメントに分類して開示しております。

セグメント	事業の内容
ISP's ISP	ISP事業者向けに、ネットワークサービスを提供しております。
iDC's iDC	独自の仮想化技術によるクラウド系サービス等を提供しております。
Maker's Maker	ユビキタス家電の製造／販売、ライセンス提供等を行っております。
B2C	個人向けにインターネット接続サービス等を提供しております。
InternetMarketing	Webマーケティングなどを中心に、企業のWeb戦略支援等を行っております。
その他衣料販売	アパレルの製造・販売を行っております。なお当報告セグメントに関しましては、ノンコア事業の位置づけとなっており、切り離しの方向となっております。
SI	様々なアプリケーションソフトの受託開発を行っております。

当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間の業績比較

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)	差異	対前年同期 増減率
売上高	10,541	<u>17,005</u>	<u>6,464</u>	<u>+61.3%</u>
売上総利益	3,657	<u>5,952</u>	<u>2,295</u>	<u>+62.8%</u>
販売費及び一般管理費	3,551	<u>6,132</u>	<u>2,581</u>	<u>+72.7%</u>
営業利益又は営業損失 (△)	105	<u>△179</u>	<u>△285</u>	—
経常利益又は経常損失 (△)	371	<u>△28</u>	<u>△400</u>	—
四半期純利益又は四半 期純損失(△)	328	<u>△288</u>	<u>△617</u>	—

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、21,664,692千円となり、前連結会計年度末と比べて5,642,377千円増加しました。これは、主としてフルスピードを子会社化したこと等により、受取手形及び売掛金が987,756千円、のれんが2,825,842千円増加したことによるものです。

負債は14,383,289千円となり、前連結会計年度末と比べて6,195,312千円増加しました。これは、主としてフルスピードを子会社化したこと等により、短期借入金が3,062,430千円、1年内返済予定の長期借入金が1,014,224千円及び長期借入金が805,799千円増加したことによるものです。

純資産合計は、主に自己株式の取得により自己株式が増加したこと及び配当金の支払いや四半期純損失により利益剰余金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて552,935千円減少の7,281,402千円となり、この結果、自己資本比率は32.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は4,077,009千円となり、前年度末と比較して869,389千円減少しました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動による資金は393,071千円の増加（前年同四半期は1,069,612千円の増加）となりました。これは主に、負ののれん償却額が248,003千円、未払金の減少額が657,739千円あったものの、のれん償却額が734,787千円、売上債権の減少額が454,236千円あったことによるものです。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動による資金は962,966千円の減少（前年同四半期は725,818千円の減少）となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入が534,111千円あったものの、連結の範囲の変動を伴う子会社株式の取得による支出が845,752千円、関係会社出資金の払込による支出が254,400千円、貸付けによる支出が256,585千円あったことによるものです。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動による資金は297,201千円の減少（前年同四半期は1,027,258千円の増加）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が1,056,800千円あったものの、長期借入金の返済による支出が1,152,321千円、社債の償還による支出が300,000千円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

ISP's ISPやB2C、InternetMarketingをはじめとしたコア事業につきましては堅調に推移していることから、現時点で平成22年9月8日に発表しました平成23年4月期の通期業績予想からの変更はありません。但し、ノンコア事業である「その他衣料販売」におきましては、当社の孫会社に相当するギルドコーポレーション株式会社に事業の整理進捗や天候不順による業績不振などの不確定要素を有している状況にあり、その親会社であるフルスピードは、同社第3四半期決算（当社第4四半期決算に該当）発表時までにはその精査を完了する予定であると公表しております。その精査の結果、フルスピードの業績予想に修正が生じた場合には当社業績予想にも影響があることが考えられます。当社業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間において、営業損失は17,232千円増加、経常損失は17,232千円増加、税金等調整前四半期純損失は85,762千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は46,808千円（うち連結子会社取得による増加額41,850千円）であります。

・「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。なお、この変更が四半期財務諸表に与える影響はありません。

・企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社が複数の金融機関との間で締結しているシンジケートローン契約（当第3四半期連結会計期間末時点の残高は1,155,000千円）には財務制限条項が定められております。

第2四半期連結累計期間において、主としてB2C事業の構造改革にかかる先行費用の拡大や投資有価証券評価損の計上により四半期純損失を計上し、当該財務制限条項に抵触したため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しておりましたが、この状況を改善させるための対応策として、全ての貸付人に中期経営計画を説明するとともに今後の返済計画について協議し、その結果として平成22年12月10日付で全ての貸付人から、期限の利益を喪失させることのできる権利の放棄要請に対する承諾通知書を入手したため、当第3四半期連結会計期間末現在においても、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと判断しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,091,525	4,946,398
受取手形及び売掛金	3,321,676	2,333,919
商品及び製品	865,271	372,071
仕掛品	26,156	26,233
原材料及び貯蔵品	21,191	1,428
その他	1,789,048	1,157,435
貸倒引当金	<u>△74,246</u>	△48,566
流動資産合計	<u>10,040,623</u>	8,788,921
固定資産		
有形固定資産	1,474,565	805,307
無形固定資産		
のれん	6,924,033	4,098,191
ソフトウェア	273,126	242,327
その他	38,681	35,666
無形固定資産合計	<u>7,235,841</u>	4,376,186
投資その他の資産		
投資有価証券	1,627,856	1,119,803
差入保証金	801,009	727,859
その他	1,194,839	235,304
貸倒引当金	<u>△710,044</u>	△31,068
投資その他の資産合計	<u>2,913,661</u>	2,051,899
固定資産合計	<u>11,624,068</u>	7,233,393
資産合計	<u>21,664,692</u>	16,022,314
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	961,275	162,499
短期借入金	4,945,433	1,883,002
1年内返済予定の長期借入金	1,771,072	756,848
未払金	2,584,509	2,010,516
未払法人税等	86,764	107,847
引当金	85,306	43,217
その他	745,823	693,803
流動負債合計	<u>11,180,185</u>	5,657,735
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	1,884,639	1,078,840
引当金	3,285	16,746
資産除去債務	54,723	—
負ののれん	428,668	676,671
その他	431,787	357,982
固定負債合計	<u>3,203,104</u>	2,530,241
負債合計	<u>14,383,289</u>	8,187,977

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,042,385	3,042,385
資本剰余金	1,670,602	1,670,602
利益剰余金	<u>2,580,222</u>	3,018,090
自己株式	<u>△364,327</u>	△135,204
株主資本合計	<u>6,928,882</u>	7,595,873
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	<u>△2,043</u>	5,919
評価・換算差額等合計	<u>△2,043</u>	5,919
新株予約権	828	—
少数株主持分	<u>353,735</u>	232,544
純資産合計	<u>7,281,402</u>	7,834,337
負債純資産合計	<u>21,664,692</u>	16,022,314

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)
売上高	10,541,200	<u>17,005,373</u>
売上原価	6,884,168	<u>11,052,485</u>
売上総利益	3,657,032	<u>5,952,887</u>
販売費及び一般管理費	3,551,262	<u>6,132,521</u>
営業利益又は営業損失(△)	105,770	<u>△179,634</u>
営業外収益		
受取利息	2,176	5,393
受取配当金	50	119
有価証券売却益	149	—
負ののれん償却額	232,673	248,003
助成金収入	115,958	—
その他	3,396	87,450
営業外収益合計	354,406	340,965
営業外費用		
支払利息	59,904	104,971
持分法による投資損失	—	27,332
その他	28,411	57,743
営業外費用合計	88,316	190,047
経常利益又は経常損失(△)	371,860	<u>△28,715</u>
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,065	5,547
事業譲渡益	—	39,706
助成金収入	59,185	—
その他	158	4,151
特別利益合計	61,408	49,404
特別損失		
固定資産除却損	5,790	15,590
投資有価証券評価損	—	85,963
持分変動損失	80	—
訴訟関連損失	3,600	—
事務所移転費用	2,224	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	68,529
その他	—	12,958
特別損失合計	11,694	183,042
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	421,574	<u>△162,353</u>
法人税、住民税及び事業税	29,068	136,650
法人税等調整額	54,378	<u>1,492</u>
法人税等合計	83,446	<u>138,143</u>
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	<u>△300,496</u>
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9,731	<u>△11,772</u>
四半期純利益又は四半期純損失(△)	328,396	<u>△288,723</u>

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年1月31日)
売上高	3,835,938	<u>6,832,689</u>
売上原価	2,626,581	<u>4,379,286</u>
売上総利益	1,209,356	<u>2,453,403</u>
販売費及び一般管理費	1,308,672	<u>2,503,803</u>
営業損失(△)	△99,315	<u>△50,400</u>
営業外収益		
受取利息	295	2,068
負ののれん償却額	82,667	82,667
助成金収入	446	—
その他	2,091	34,931
営業外収益合計	85,502	119,667
営業外費用		
支払利息	23,462	42,551
為替差損	13,632	—
貸倒引当金繰入額	—	19,318
その他	10,946	3,159
営業外費用合計	48,041	65,030
<u>経常利益又は経常損失(△)</u>	<u>△61,854</u>	<u>4,237</u>
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,702	2,319
投資有価証券売却益	—	3,000
その他	—	871
特別利益合計	1,702	6,190
特別損失		
固定資産除却損	237	4,779
訴訟関連損失	600	—
事務所移転費用	2,224	—
その他	—	1,496
特別損失合計	3,061	6,276
<u>税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)</u>	<u>△63,213</u>	<u>4,151</u>
法人税、住民税及び事業税	7,895	18,768
法人税等調整額	△7,502	<u>57,433</u>
法人税等合計	392	<u>76,202</u>
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	<u>△72,050</u>
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,748	<u>△19,738</u>
四半期純損失(△)	△65,354	<u>△52,311</u>

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	421,574	<u>△162,353</u>
減価償却費	279,909	<u>462,599</u>
のれん償却額	500,028	<u>734,787</u>
負ののれん償却額	△232,673	<u>△248,003</u>
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,107	102,406
受取利息及び受取配当金	△2,227	△5,512
支払利息	59,904	104,971
為替差損益(△は益)	11,851	△24,591
助成金収入	△175,143	—
持分法による投資損益(△は益)	—	27,332
投資有価証券評価損益(△は益)	—	85,963
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	68,529
売上債権の増減額(△は増加)	548,946	<u>454,236</u>
たな卸資産の増減額(△は増加)	66,970	△231,024
その他の流動資産の増減額(△は増加)	75,343	<u>118,216</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	11,130	<u>85,439</u>
未払金の増減額(△は減少)	△258,796	△657,739
解約損失引当金の増減額(△は減少)	△175,405	—
その他	△127,991	<u>△178,654</u>
小計	999,313	<u>736,604</u>
利息及び配当金の受取額	1,881	3,312
利息の支払額	△56,759	△110,200
助成金の受取額	175,143	—
訴訟関連損失の支払額	△3,600	—
法人税等の還付額	7,663	51,286
法人税等の支払額	△54,030	△289,834
その他の収入	—	1,902
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,069,612	<u>393,071</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△114,315	<u>△81,576</u>
無形固定資産の取得による支出	△74,114	△147,666
貸付けによる支出	△51,996	△256,585
子会社株式の取得による支出	△385,275	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△845,752
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	2,402	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△254,400
差入保証金の回収による収入	35,436	534,111
差入保証金の差入による支出	△133,881	—
その他	△4,073	88,903
投資活動によるキャッシュ・フロー	△725,818	<u>△962,966</u>

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△906,694	649,719
長期借入れによる収入	50,000	1,056,800
長期借入金の返済による支出	△550,946	△1,152,321
社債の発行による収入	492,608	—
社債の償還による支出	△100,000	△300,000
株式の発行による収入	2,349,169	—
自己株式の取得による支出	△135,878	△230,644
配当金の支払額	△137,273	△180,273
リース債務の返済による支出	—	△115,508
その他	△33,727	△24,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,027,258	△297,201
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△2,292
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,371,059	△869,389
現金及び現金同等物の期首残高	4,020,018	4,946,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,391,078	4,077,009

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成22年1月31日)

	インターネット 関連事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,258,738	1,282,461	10,541,200	—	10,541,200
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,718,333	8,221	1,726,554	(1,726,554)	—
計	10,977,072	1,290,683	12,267,755	(1,726,554)	10,541,200
営業利益	363,576	48,711	412,288	(306,517)	105,770

(注) 1. デジタル機器等の販売を行うエグゼモード株式会社を連結子会社化したことにより、インターネット関連事業の売上高及び営業利益の金額が、それぞれ全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計の90%を下回ったため、当第3四半期より事業別セグメントを記載しております。

2. 事業区分の方法

事業は、サービスの類似性を考慮して区分しております。

3. 各区分に属する事業の内容

事業区分	事業内容
インターネット関連事業	インターネット接続サービス及びインターネット・インフラの提供等を行う事業
その他	デジタル機器等の販売、システム開発を行う事業など

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成22年1月31日)

重要な在外子会社及び在外支店がないため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成22年1月31日)

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成23年1月31日)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱うサービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、サービスを基礎としたセグメントから構成されており、「ISP's ISP」「iDC's iDC」「Maker's Maker」「B2C」「InternetMarketing」「その他衣料販売」及び「SI」の7つを報告セグメントとしております。

「ISP's ISP」は、ISP事業者向けにネットワークサービスを提供しております。「iDC's iDC」は、独自の仮想化技術によるクラウド型サービス等を提供しております。「Maker's Maker」は、ユビキタス家電の製造/販売等を行っております。「B2C」は、個人向けにインターネット接続サービス等を提供しております。「InternetMarketing」は、Webマーケティングなどを中心に、企業のWeb戦略支援等を行っております。「その他衣料販売」は、アパレルの製造・販売を行っております。「SI」は、様々なアプリケーションソフトの受託開発を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成23年1月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					
	ISP's ISP	iDC's iDC	Maker's Maker	B2C	Internet Marketing	その他衣料販売
売上高						
外部顧客への売上高	<u>4,002,127</u>	<u>1,467,733</u>	1,585,952	3,019,965	<u>2,917,657</u>	3,161,399
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,142,295	50,302	60,080	4,695	31,271	—
計	<u>5,144,422</u>	<u>1,518,035</u>	1,646,032	3,024,660	<u>2,948,929</u>	3,161,399
セグメント利益又は損失(△)	<u>725,907</u>	<u>△187,897</u>	<u>△224,805</u>	△52,734	<u>157,252</u>	△88,870

	報告セグメント	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	SI				
売上高					
外部顧客への売上高	359,814	490,724	<u>17,005,373</u>	—	<u>17,005,373</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	166,618	—	1,455,263	△1,455,263	—
計	526,432	490,724	<u>18,460,636</u>	△1,455,263	<u>17,005,373</u>
セグメント利益又は損失(△)	△3,923	<u>34,010</u>	<u>358,940</u>	<u>△538,574</u>	<u>△179,634</u>

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テレコミュニケーション事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△538,574千円には、のれん償却額△490,947千円、未実現利益の調整額△35,578千円及び、その他の連結調整額△12,048千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成23年1月31日)

第2四半期連結累計期間において、企業のWeb戦略支援等を行う株式会社フルスピード及びアパレルの製造・販売を行うギルドコーポレーション株式会社を連結の範囲に含めたため、報告セグメントとして「InternetMarketing」及び「その他衣料販売」を追加しております。

なお、「その他衣料販売」報告セグメントに関しましては、当社グループとしましてはノンコア事業の位置づけとなっており、切り離しの方向となっております。事業切り離し後は、当報告セグメント自体が削除される予定です。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、取締役会決議に基づき、第1四半期連結会計期間において、自己株式を720株、182,064千円、第2四半期連結会計期間において、自己株式を280株、47,058千円を取得しております。なお、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は1,390株、364,327千円となっております。

(訂正前)



平成23年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年3月15日

上場取引所 東

上場会社名 フリービット株式会社
コード番号 3843 URL <http://www.freebit.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 宏樹
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 田中 伸明 TEL 03-5459-0522
四半期報告書提出予定日 平成23年3月16日
配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年4月期第3四半期の連結業績(平成22年5月1日～平成23年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年4月期第3四半期	17,080	62.0	△147	-	3	△99.2	△273	-
22年4月期第3四半期	10,541	32.6	105	△90.9	371	△66.8	328	△71.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第3四半期	△5,483.61	-
22年4月期第3四半期	6,643.51	6,449.15

(注) 平成23年4月期第3四半期連結の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たりの四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年4月期第3四半期	21,664	7,297	32.0	139,918.81
22年4月期	16,022	7,834	47.4	150,197.44

(参考) 自己資本 23年4月期第3四半期 6,941百万円 22年4月期 7,601百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	-	0.00	-	3,600.00	3,600.00
23年4月期	-	0.00	-		
23年4月期(予想)				3,600.00	3,600.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年4月期の連結業績予想(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	70.0	1,000	145.3	1,050	30.6	200	△80.4	4,010.57

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年4月期3Q	51,002株	22年4月期	51,002株
② 期末自己株式数	23年4月期3Q	1,390株	22年4月期	390株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年4月期3Q	49,951株	22年4月期3Q	49,431株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(第3四半期連結累計期間)	8
(第3四半期連結会計期間)	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の業績が回復基調を見せているものの、欧米をはじめとした経済鈍化懸念もあって円高が急進し、国内の雇用情勢や景気の先行きは未だ不透明な状況で推移しております。

一方で、インターネットの分野においては、FTTH（光ファイバー）接続が増加したことにより、ブロードバンド契約者数が平成22年9月末時点で3,401万契約となる（総務省公表値）など、利用者数の増加とともに、通信環境の高品質化が引き続き進展しております。

このような環境の中、当社グループは、これまで行ってきた構造改革や成長ドライバーへの投資を結実させるべく事業展開を行うとともに、新たにInternetMarketing事業を取り込むことで事業リソースの拡充と事業規模の拡大をはかっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は17,080,666千円（前年同四半期比62.0%増）となりました。営業損失は147,758千円（前年同四半期は営業利益105,770千円）、経常利益は3,160千円（前年同四半期比99.2%減）、四半期純損失は273,910千円（前年同四半期は四半期純利益328,396千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第2四半期連結累計期間において、企業のWeb戦略支援等を行う株式会社フルスピード（以下、「フルスピード」といいます）及びフルスピード子会社でアパレルの製造・販売を行うギルドコーポレーション株式会社を連結の範囲に含めたため、報告セグメントとして「InternetMarketing」及び「その他衣料販売」を追加しております。当社グループでは、「その他衣料販売」セグメントをノンコア事業と位置付けて切り離す方向になっており、切り離し後は当報告セグメント自体が削除される予定です。「その他衣料販売」を除くコア事業につきましては当第3四半期連結会計期間から黒字基調で推移し、予定通りの進捗をしております。

① ISP's ISP

ISP's ISP事業につきましては、第2四半期連結会計期間に株式会社ベッコアメ・インターネットを新たに連結子会社化したことで事業規模が拡大したことに加えて、提供先エンドユーザー数が引き続き増加したことにより堅調に推移いたしました。新規ユーザーの多くは退会率の低い光ファイバー回線の利用者であるため、継続的な収入が増加するだけでなく回線コストの低廉化にも寄与いたします。また、事業効率の改善をはかることによって、収益の向上にも努めました。以上の結果、売上高は5,156,667千円、営業利益は751,576千円となりました。

② iDC's iDC

iDC's iDC事業につきましては、従来型のリアルデータセンターサービスを譲渡したことにより、前年同四半期比で売上は減少いたしました。当社の強みを活かした仮想化技術とIPv6技術によるクラウド型のデータセンターサービスへ経営資源の集中をはかることで、収益の改善をおこなっております。大手ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス事業会社の推奨インフラに採用されるなどの具体的な実績も表れており、このサービスの拡大に努めることで、引き続き事業構造の転換もはかっております。以上の結果、売上高は1,520,333千円、営業損失は190,370千円となりました。

③ Maker's Maker

Maker's Maker事業につきましては、商品ラインナップの選択と集中、在庫の圧縮、ServersManによる製品の独自性の打ち出しなどの薄利多売型から高付加価値型への転換をはかっております。また、中国におけるM2M市場への本格参入に向けた先行投資も進め、事業提携を行うとともに、合弁会社を設立した中国大手デジタルコンシューマー機器メーカー「愛国者（aigo）」との連携の強化をはかっており、連結子会社のエグゼモード株式会社では、市場競争力が期待できるaigo商品の取り扱いを強化しております。以上の結果、売上高は1,646,032千円、営業損失は221,077千円となりました。

④ B2C

B2C事業につきましては、連結子会社の株式会社ドリーム・トレイン・インターネットにおいて個人向けクラウドサービスなどの新規サービスを開始し、接続サービス以外の収益を確保するべく積極的に新サービスの開発を行っております。競争力の低いひかりoneTタイプ（旧TEPCOひかり）サービスからの撤退による影響も収束し、これまでの事業構造改革によるコスト抑制効果が業績に寄与しはじめており、また、新規ユーザー獲得施策につきましても、業務効率の向上等により獲得のための固定費を吸収しつつあります。これらの効果により、当第3四半期連結会計期間においては利益が創出できる事業構造に転換しております。以上の結果、売上高は3,024,660千円、営業損失は52,734千円となりました。

⑤ InternetMarketing

InternetMarketing事業につきましては、フルスピードを中心に、Webマーケティングなどの企業のWeb戦略

支援等を行っております。

継続収入型の有料会員制サービス「フルスピードクラブ」の獲得に注力したことにより、これまでの主力サービスであった成功報酬型のSEO（検索エンジン最適化）やリスティング広告の獲得は減少しましたが、フルスピードクラブの会員数が順調に増加した結果、売上高は3,009,679千円、営業利益は158,271千円となりました。

⑥ その他衣料販売

その他衣料販売セグメントに関しましてはノンコア事業と位置付けており、切り離しを予定しております。

この事業につきましては、ギルドコーポレーション株式会社によるアパレルの製造・販売を対象としたものであります。会計基準に基づき、報告セグメントとして追加しておりますが、当報告セグメントは当事業の切り離し後、報告セグメント自体が削除される予定となっております。

当報告セグメントにおきましては、様々な販売施策や広告宣伝施策を講じるなど積極的な販売活動を行ってまいりましたが、個人消費の停滞や低価格を特徴とした欧米ブランドの攻勢など厳しい事業環境が続き、苦戦を強いられる展開となり、一部商品につきましては評価損も計上しております。以上の結果、売上高は3,161,399千円、営業損失は88,870千円となりました。

⑦ SI

SI事業につきましては、連結子会社の株式会社ギガプライズにおいて、既存取引先との取引縮小や新規取引先獲得の遅れが発生いたしました。以上の結果、売上高は526,432千円、営業損失は3,923千円となりました。

⑧ その他

その他事業につきましては、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テレコミュニケーション事業等が含まれております。売上高は490,724千円、営業利益は34,109千円となりました。

※ 当社は、前第3四半期連結累計期間において、「インターネット関連事業」と「その他」に分類して開示しておりましたが、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等の適用により、第1四半期連結累計期間より、「ISP's ISP」「iDC's iDC」「Maker's Maker」「B2C」及び「SI」の5報告セグメント及び「その他」に分類して開示しております。また、第2四半期連結累計期間より、「InternetMarketing」及び「その他衣料販売」を新設したことで7つの報告セグメントに分類して開示しております。

セグメント	事業の内容
ISP's ISP	ISP事業者向けに、ネットワークサービスを提供しております。
iDC's iDC	独自の仮想化技術によるクラウド系サービス等を提供しております。
Maker's Maker	ユビキタス家電の製造／販売、ライセンス提供等を行っております。
B2C	個人向けにインターネット接続サービス等を提供しております。
InternetMarketing	Webマーケティングなどを中心に、企業のWeb戦略支援等を行っております。
その他衣料販売	アパレルの製造・販売を行っております。なお当報告セグメントに関しましては、ノンコア事業の位置づけとなっており、切り離しの方向となっております。
SI	様々なアプリケーションソフトの受託開発を行っております。

当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間の業績比較

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)	差異	対前年同期 増減率
売上高	10,541	<u>17,080</u>	<u>6,539</u>	<u>+62.0%</u>
売上総利益	3,657	<u>5,958</u>	<u>2,301</u>	<u>+62.9%</u>
販売費及び一般管理費	3,551	<u>6,106</u>	<u>2,555</u>	<u>+72.0%</u>
営業利益又は営業損失 (△)	105	<u>△147</u>	<u>△253</u>	—
経常利益	371	<u>3</u>	<u>△368</u>	<u>△99.2%</u>
四半期純利益又は四半 期純損失(△)	328	<u>△273</u>	<u>△602</u>	—

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、21,664,517千円となり、前連結会計年度末と比べて5,642,202千円増加しました。これは、主としてフルスピードを子会社化したこと等により、受取手形及び売掛金が1,033,427千円、のれんが2,752,984千円増加したことによるものです。

負債は14,366,857千円となり、前連結会計年度末と比べて6,178,879千円増加しました。これは、主としてフルスピードを子会社化したこと等により、短期借入金が3,062,430千円、1年内返済予定の長期借入金が1,014,224千円及び長期借入金が805,799千円増加したことによるものです。

純資産合計は、主に自己株式の取得により自己株式が増加したこと及び配当金の支払いや四半期純損失により利益剰余金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて536,677千円減少の7,297,659千円となり、この結果、自己資本比率は32.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は4,077,009千円となり、前年度末と比較して869,389千円減少しました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動による資金は396,289千円の増加（前年同四半期は1,069,612千円の増加）となりました。これは主に、負ののれん償却額が248,003千円、未払金の減少額が657,739千円あったものの、のれん償却額が730,952千円、売上債権の減少額が463,583千円あったことによるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動による資金は966,184千円の減少（前年同四半期は725,818千円の減少）となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入が534,111千円あったものの、連結の範囲の変動を伴う子会社株式の取得による支出が845,752千円、関係会社出資金の払込による支出が254,400千円、貸付けによる支出が256,585千円あったことによるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動による資金は297,201千円の減少（前年同四半期は1,027,258千円の増加）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が1,056,800千円あったものの、長期借入金の返済による支出が1,152,321千円、社債の償還による支出が300,000千円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

ISP's ISPやB2C、InternetMarketingをはじめとしたコア事業につきましては堅調に推移していることから、現時点で平成22年9月8日に発表しました平成23年4月期の通期業績予想からの変更はありません。但し、ノンコア事業である「その他衣料販売」におきましては、当社の孫会社に相当するギルドコーポレーション株式会社に事業の整理進捗や天候不順による業績不振などの不確定要素を有している状況にあり、その親会社であるフルスピードは、同社第3四半期決算（当社第4四半期決算に該当）発表時までにはその精査を完了する予定であると公表しております。その精査の結果、フルスピードの業績予想に修正が生じた場合には当社業績予想にも影響があることが考えられます。当社業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間において、営業損失は17,232千円増加、経常利益は17,232千円減少、税金等調整前四半期純損失は85,762千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は46,808千円（うち連結子会社取得による増加額41,850千円）であります。

・「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。なお、この変更が四半期財務諸表に与える影響はありません。

・企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社が複数の金融機関との間で締結しているシンジケートローン契約（当第3四半期連結会計期間末時点の残高は1,155,000千円）には財務制限条項が定められております。

第2四半期連結累計期間において、主としてB2C事業の構造改革にかかる先行費用の拡大や投資有価証券評価損の計上により四半期純損失を計上し、当該財務制限条項に抵触したため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しておりましたが、この状況を改善させるための対応策として、全ての貸付人に中期経営計画を説明するとともに今後の返済計画について協議し、その結果として平成22年12月10日付で全ての貸付人から、期限の利益を喪失させることのできる権利の放棄要請に対する承諾通知書を入手したため、当第3四半期連結会計期間末現在においても、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと判断しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,091,525	4,946,398
受取手形及び売掛金	3,367,347	2,333,919
商品及び製品	865,271	372,071
仕掛品	26,156	26,233
原材料及び貯蔵品	21,191	1,428
その他	1,775,130	1,157,435
貸倒引当金	△74,246	△48,566
流動資産合計	10,072,376	8,788,921
固定資産		
有形固定資産	1,511,493	805,307
無形固定資産		
のれん	6,851,176	4,098,191
ソフトウェア	275,815	242,327
その他	38,681	35,666
無形固定資産合計	7,165,673	4,376,186
投資その他の資産		
投資有価証券	1,627,856	1,119,803
差入保証金	801,009	727,859
その他	1,151,151	235,304
貸倒引当金	△665,044	△31,068
投資その他の資産合計	2,914,973	2,051,899
固定資産合計	11,592,140	7,233,393
資産合計	21,664,517	16,022,314
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	984,325	162,499
短期借入金	4,945,433	1,883,002
1年内返済予定の長期借入金	1,771,072	756,848
未払金	2,579,737	2,010,516
未払法人税等	86,764	107,847
引当金	85,306	43,217
その他	711,112	693,803
流動負債合計	11,163,752	5,657,735
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	1,884,639	1,078,840
引当金	3,285	16,746
資産除去債務	54,723	—
負ののれん	428,668	676,671
その他	431,787	357,982
固定負債合計	3,203,104	2,530,241
負債合計	14,366,857	8,187,977

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,042,385	3,042,385
資本剰余金	1,670,602	1,670,602
利益剰余金	<u>2,595,035</u>	3,018,090
自己株式	<u>△364,327</u>	△135,204
株主資本合計	<u>6,943,695</u>	7,595,873
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	<u>△2,043</u>	5,919
評価・換算差額等合計	<u>△2,043</u>	5,919
新株予約権	828	—
少数株主持分	<u>355,179</u>	232,544
純資産合計	<u>7,297,659</u>	7,834,337
負債純資産合計	<u>21,664,517</u>	16,022,314

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)
売上高	10,541,200	<u>17,080,666</u>
売上原価	6,884,168	<u>11,122,011</u>
売上総利益	3,657,032	<u>5,958,655</u>
販売費及び一般管理費	3,551,262	<u>6,106,413</u>
営業利益又は営業損失(△)	105,770	<u>△147,758</u>
営業外収益		
受取利息	2,176	5,393
受取配当金	50	119
有価証券売却益	149	—
負ののれん償却額	232,673	248,003
助成金収入	115,958	—
その他	3,396	87,450
営業外収益合計	354,406	340,965
営業外費用		
支払利息	59,904	104,971
持分法による投資損失	—	27,332
その他	28,411	57,743
営業外費用合計	88,316	190,047
経常利益	371,860	<u>3,160</u>
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,065	5,547
事業譲渡益	—	39,706
助成金収入	59,185	—
その他	158	4,151
特別利益合計	61,408	49,404
特別損失		
固定資産除却損	5,790	15,590
投資有価証券評価損	—	85,963
持分変動損失	80	—
訴訟関連損失	3,600	—
事務所移転費用	2,224	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	68,529
その他	—	12,958
特別損失合計	11,694	183,042
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	421,574	<u>△130,477</u>
法人税、住民税及び事業税	29,068	136,650
法人税等調整額	54,378	<u>17,110</u>
法人税等合計	83,446	<u>153,761</u>
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	<u>△284,238</u>
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9,731	<u>△10,327</u>
四半期純利益又は四半期純損失(△)	328,396	<u>△273,910</u>

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年1月31日)
売上高	3,835,938	<u>6,891,262</u>
売上原価	2,626,581	<u>4,445,589</u>
売上総利益	1,209,356	<u>2,445,672</u>
販売費及び一般管理費	1,308,672	<u>2,505,771</u>
営業損失(△)	△99,315	<u>△60,099</u>
営業外収益		
受取利息	295	2,068
負ののれん償却額	82,667	82,667
助成金収入	446	—
その他	2,091	34,931
営業外収益合計	85,502	119,667
営業外費用		
支払利息	23,462	42,551
為替差損	13,632	—
貸倒引当金繰入額	—	19,318
その他	10,946	3,159
営業外費用合計	48,041	65,030
経常損失(△)	△61,854	<u>△5,461</u>
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,702	2,319
投資有価証券売却益	—	3,000
その他	—	871
特別利益合計	1,702	6,190
特別損失		
固定資産除却損	237	4,779
訴訟関連損失	600	—
事務所移転費用	2,224	—
その他	—	1,496
特別損失合計	3,061	6,276
税金等調整前四半期純損失(△)	△63,213	<u>△5,547</u>
法人税、住民税及び事業税	7,895	18,768
法人税等調整額	△7,502	<u>54,908</u>
法人税等合計	392	<u>73,676</u>
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	<u>△79,223</u>
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,748	<u>△19,967</u>
四半期純損失(△)	△65,354	<u>△59,256</u>

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	421,574	<u>△130,477</u>
減価償却費	279,909	<u>470,167</u>
のれん償却額	500,028	<u>730,952</u>
負ののれん償却額	△232,673	△248,003
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,107	102,406
受取利息及び受取配当金	△2,227	△5,512
支払利息	59,904	104,971
為替差損益(△は益)	11,851	△24,591
助成金収入	△175,143	—
持分法による投資損益(△は益)	—	27,332
投資有価証券評価損益(△は益)	—	85,963
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	68,529
売上債権の増減額(△は増加)	548,946	<u>463,583</u>
たな卸資産の増減額(△は増加)	66,970	△231,024
その他の流動資産の増減額(△は増加)	75,343	<u>124,496</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	11,130	<u>59,419</u>
未払金の増減額(△は減少)	△258,796	△657,739
解約損失引当金の増減額(△は減少)	△175,405	—
その他	△127,991	<u>△200,653</u>
小計	999,313	<u>739,822</u>
利息及び配当金の受取額	1,881	3,312
利息の支払額	△56,759	△110,200
助成金の受取額	175,143	—
訴訟関連損失の支払額	△3,600	—
法人税等の還付額	7,663	51,286
法人税等の支払額	△54,030	△289,834
その他の収入	—	1,902
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,069,612	<u>396,289</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△114,315	<u>△84,794</u>
無形固定資産の取得による支出	△74,114	△147,666
貸付けによる支出	△51,996	△256,585
子会社株式の取得による支出	△385,275	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△845,752
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	2,402	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△254,400
差入保証金の回収による収入	35,436	534,111
差入保証金の差入による支出	△133,881	—
その他	△4,073	88,903
投資活動によるキャッシュ・フロー	△725,818	<u>△966,184</u>

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△906,694	649,719
長期借入れによる収入	50,000	1,056,800
長期借入金の返済による支出	△550,946	△1,152,321
社債の発行による収入	492,608	—
社債の償還による支出	△100,000	△300,000
株式の発行による収入	2,349,169	—
自己株式の取得による支出	△135,878	△230,644
配当金の支払額	△137,273	△180,273
リース債務の返済による支出	—	△115,508
その他	△33,727	△24,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,027,258	△297,201
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△2,292
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,371,059	△869,389
現金及び現金同等物の期首残高	4,020,018	4,946,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,391,078	4,077,009

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成22年1月31日)

	インターネット 関連事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,258,738	1,282,461	10,541,200	—	10,541,200
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,718,333	8,221	1,726,554	(1,726,554)	—
計	10,977,072	1,290,683	12,267,755	(1,726,554)	10,541,200
営業利益	363,576	48,711	412,288	(306,517)	105,770

(注) 1. デジタル機器等の販売を行うエグゼモード株式会社を連結子会社化したことにより、インターネット関連事業の売上高及び営業利益の金額が、それぞれ全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計の90%を下回ったため、当第3四半期より事業別セグメントを記載しております。

2. 事業区分の方法

事業は、サービスの類似性を考慮して区分しております。

3. 各区分に属する事業の内容

事業区分	事業内容
インターネット関連事業	インターネット接続サービス及びインターネット・インフラの提供等を行う事業
その他	デジタル機器等の販売、システム開発を行う事業など

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成22年1月31日)

重要な在外子会社及び在外支店がないため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成22年1月31日)

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成23年1月31日)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱うサービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、サービスを基礎としたセグメントから構成されており、「ISP's ISP」「iDC's iDC」「Maker's Maker」「B2C」「InternetMarketing」「その他衣料販売」及び「SI」の7つを報告セグメントとしております。

「ISP's ISP」は、ISP事業者向けにネットワークサービスを提供しております。「iDC's iDC」は、独自の仮想化技術によるクラウド型サービス等を提供しております。「Maker's Maker」は、ユビキタス家電の製造/販売等を行っております。「B2C」は、個人向けにインターネット接続サービス等を提供しております。「InternetMarketing」は、Webマーケティングなどを中心に、企業のWeb戦略支援等を行っております。「その他衣料販売」は、アパレルの製造・販売を行っております。「SI」は、様々なアプリケーションソフトの受託開発を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成23年1月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					
	ISP's ISP	iDC's iDC	Maker's Maker	B2C	Internet Marketing	その他衣料販売
売上高						
外部顧客への売上高	<u>4,014,372</u>	<u>1,470,031</u>	1,585,952	3,019,965	<u>2,978,407</u>	3,161,399
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,142,295	50,302	60,080	4,695	31,271	—
計	<u>5,156,667</u>	<u>1,520,333</u>	1,646,032	3,024,660	<u>3,009,679</u>	3,161,399
セグメント利益又は損失(△)	<u>751,576</u>	<u>△190,370</u>	<u>△221,077</u>	△52,734	<u>158,271</u>	△88,870

	報告セグメント	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	SI				
売上高					
外部顧客への売上高	359,814	490,724	<u>17,080,666</u>	—	<u>17,080,666</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	166,618	—	1,455,263	△1,455,263	—
計	526,432	490,724	<u>18,535,929</u>	△1,455,263	<u>17,080,666</u>
セグメント利益又は損失(△)	△3,923	<u>34,109</u>	<u>386,981</u>	<u>△534,739</u>	<u>△147,758</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テレコミュニケーション事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△534,739千円には、のれん償却額487,113千円、未実現利益の調整35,578千円及び、その他の連結調整額12,048千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成23年1月31日)

第2四半期連結累計期間において、企業のWeb戦略支援等を行う株式会社フルスピード及びアパレルの製造・販売を行うギルドコーポレーション株式会社を連結の範囲に含めたため、報告セグメントとして「InternetMarketing」及び「その他衣料販売」を追加しております。

なお、「その他衣料販売」報告セグメントに関しましては、当社グループとしましてはノンコア事業の位置づけとなっており、切り離しの方向となっております。事業切り離し後は、当報告セグメント自体が削除される予定です。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、取締役会決議に基づき、第1四半期連結会計期間において、自己株式を720株、182,064千円、第2四半期連結会計期間において、自己株式を280株、47,058千円を取得しております。なお、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は1,390株、364,327千円となっております。